

Economic Monitor

2011 年は名実ともに新興国が自動車市場の主役に

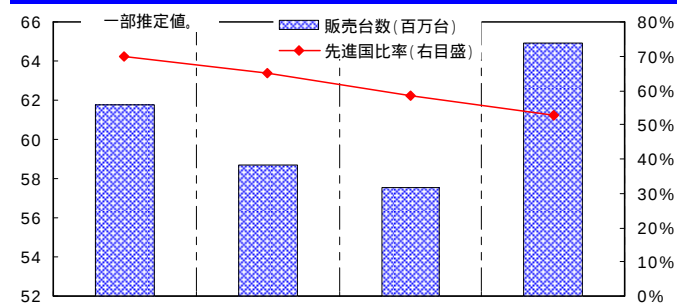
2010 年に世界の自動車販売台数は、前年から 13% 程度増加し、史上最高を更新した模様である。2007 年まで順調に拡大してきた自動車販売は金融危機を受けて 2008、2009 年と大きく落ち込んだが、2010 年は急拡大した。月次統計で販売動向が把握できる主要国について、当社が集計したベースでは 2010 年の世界自動車販売台数は 65 百万台となった（最新データの未発表国については推定）。日本自動車工業会が公表している自動車統計年報に対するカバレッジは 2008 年時点で 93% 程度だが、2010 年についても同様のカバレッジを仮定すれば 2010 年の世界自動車販売台数は実に 70 百万台近くに達したことになる。

2010 年の販売内訳を見ると、新興国での販売増加が顕著である。新興国の自動車販売は所得水準の上昇に伴い、金融危機直後の 2008 年も前年比 10% 程度のペースで拡大を続けたが、2010 年は実に 3 割近くも拡大し、全体を押し上げた。牽引したのは言うまでもなく、2009 年に米国を抜いて世界最大の市場に躍り出た中国である。2010 年の世界市場の販売増加分のうち、実に 6 割が中国市場の拡大によるものである。また、中国以外の BRICs 諸国や ASEAN 諸国でも自動車販売は大幅に拡大した。特に新興国での自動車販売は 2010 年終盤にかけて加速したことが特徴である。

一方、先進国（日本、米国、EU、豪州、NZ）の販売台数も、世界第二位の米国市場が牽引するかたちで 2010 年は前年比 2% 程度と 4 年ぶりの増加に転じた。米国以外でも豪州などが前年比 10% 以上の増加を記録したが、欧州や日本が振るわなかった。過半の国で買替支援策が 2009 年中に終了した EU で販売台数が大幅に減少したほか、日本もエコカー補助金終了後の落ち込みが厳しく 2010 年通期では小幅の拡大に留まっている。

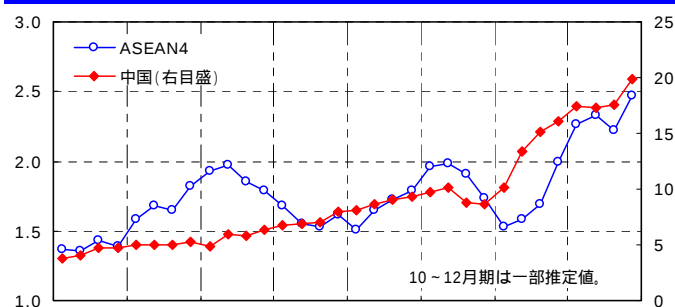
先進国市場と新興国市場の勢いの差を反映し、世界全体に占める先進国市場の割合は急低下している。2007 年時点では世界に占める先進国市場のシェアが 7 割を超えていたが、2010 年には 5 割程度まで低下した模様である。利上げに伴う自動車ローン金利の上昇や販売支援策の縮小などを受け、新興国市場の拡大ペースは 2011 年以降、鈍化が見込まれる。しかし、それでも新興国市場が、先進国市場を上回るペースで拡大するのは確実であり、今年はずいに新興国市場が世界の自動車市場の過半を占めることになる。

世界の自動車販売



(出所)CEIC Data

中国とASEAN4の自動車販売(季調値、年率、百万台)



(出所)CEIC Data

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、伊藤忠商事調査情報部が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。記載内容は、伊藤忠商事ないしはその関連会社の投資方針と整合的であるとは限りません。